

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公表番号】特表 2018-528802 (P2018-528802A)

【公表日】平成 30 年 10 月 4 日 (2018.10.4)

【年通号数】公開・登録公報 2018-038

【出願番号】特願 2018-504166 (P2018-504166)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0215 (2006.01)

A 6 1 B 1/313 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/0215 E

A 6 1 B 5/0215 D

A 6 1 B 1/313 5 1 0

A 6 1 B 1/00 7 1 2

A 6 1 B 8/12

A 6 1 M 25/00

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 27 日 (2019.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

近位部分及び遠位部分を有する、可撓性の細長い部材と、

前記可撓性の細長い部材の前記遠位部分に固定された少なくとも 1 つの電子部品と、

前記可撓性の細長い部材の前記近位部分に固定された少なくとも 1 つの電気コネクタであって、前記可撓性の細長い部材の前記遠位部分に固定された前記少なくとも 1 つの電子部品に電氣的に結合された、前記少なくとも 1 つの電気コネクタとを有する、

脈管内装置と、

前記可撓性の細長い部材の前記近位部分へ結合するためのコネクタであって、

凹部及び第 1 の開口を含む第 1 の接続ピースと、

第 2 の開口を含み、開放位置と閉鎖位置との間で前記第 1 の接続ピースに対して平行移動可能である第 2 の接続ピースと、

前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタとインターフェイスする少なくとも 1 つの電気接点とを有する、

前記コネクタとを備え、

前記開放位置において、前記第 1 の接続ピースの前記凹部への経路を形成するために、前記第 1 の接続ピースの前記第 1 の開口が前記第 2 の接続ピースの前記第 2 の開口と少なくとも部分的に位置合わせされて、前記脈管内装置の長手方向軸に対して横断方向に、前記第 1 の接続ピースの前記凹部中への前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタの挿入を容易にし、

前記閉鎖位置において、前記第 2 の接続ピースの前記第 2 の開口が前記第 1 の接続ピー

スの前記第 1 の開口からオフセットされるように、前記第 2 の接続ピースが前記第 1 の接続ピースに対して位置し、前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタを前記凹部内に固定し、前記少なくとも 1 つの電気接点を、前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタに結合する、脈管内システム。

【請求項 2】

前記コネクタは、前記第 1 の接続ピース及び前記第 2 の接続ピースを前記閉鎖位置に向かって付勢する、付勢要素を更に含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記凹部は、前記少なくとも 1 つの電気コネクタを含む前記脈管内装置の部分を受け入れるように寸法及び形状が決められている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの電気接点は、前記第 2 の接続ピースに固定される、請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの電子部品は、圧力センシング部品、流れセンシング部品又は脈管内撮像部品のうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの電気接点が、前記開放位置において、前記第 1 の接続ピースの前記凹部から間隔が空けられ、前記閉鎖位置において、前記第 1 の接続ピースの前記凹部を横切って延びるように、前記少なくとも 1 つの電気接点が、前記第 2 の接続ピースに固定される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの電気接点は、スプリット・オープン・コーム式電気接点を含む、請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

凹部及び第 1 の開口を含む第 1 の接続ピースと、  
第 2 の開口を含み、開放位置と閉鎖位置との間で前記第 1 の接続ピースに対して平行移動可能である第 2 の接続ピースと、

脈管内装置の少なくとも 1 つの電気コネクタとインターフェイスする少なくとも 1 つの電気接点とを含み、

前記開放位置において、前記第 1 の接続ピースの前記凹部への経路を形成するために、前記第 1 の接続ピースの前記第 1 の開口が前記第 2 の接続ピースの前記第 2 の開口と少なくとも部分的に位置合わせされて、前記脈管内装置の長手方向軸に対して横断方向に、前記第 1 の接続ピースの前記凹部中への前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタの挿入を容易にし、

前記閉鎖位置において、前記第 2 の接続ピースの前記第 2 の開口が前記第 1 の接続ピースの前記第 1 の開口からオフセットされるように、前記第 2 の接続ピースが前記第 1 の接続ピースに対して位置し、前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタを前記凹部内に固定し、前記少なくとも 1 つの電気接点を、前記脈管内装置の前記少なくとも 1 つの電気コネクタに結合する、脈管内システム用のコネクタ。

【請求項 9】

前記第 1 の接続ピース及び前記第 2 の接続ピースを前記閉鎖位置に向かって付勢する、付勢要素を更に含む、請求項 8 に記載のコネクタ。

【請求項 10】

前記凹部は、前記少なくとも 1 つの電気コネクタを含む前記脈管内装置の部分を受け入れるように寸法及び形状が決められている、請求項 8 に記載のコネクタ。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの電気接点は、前記第 2 の接続ピースに固定される、請求項 8 に記載のコネクタ。

【請求項 12】

前記少なくとも１つの電気接点が、前記開放位置において、前記第１の接続ピースの前記凹部から間隔が空けられ、前記閉鎖位置において、前記第１の接続ピースの前記凹部を横切って延びるように、前記少なくとも１つの電気接点が、前記第２の接続ピースに固定される、請求項 8 に記載のコネクタ。

【請求項 13】

前記少なくとも１つの電気接点は、スプリット・オープン・コーム式電気接点を含む、請求項 8 に記載のコネクタ。

【請求項 14】

前記付勢要素は、ばねを含む、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記付勢要素は、前記第１の接続ピース内のチャンバ内に位置する、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記チャンバは第１の形状を含み、前記第２の接続ピースは、前記開放位置において部材の一部が前記チャンバ内に受け入れられるように、前記第１の形状に対応する第２の形状を有する当該部材を含む、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記コネクタから前記脈管内装置の前記長手方向軸と同軸方向又は平行に延びる通信ケーブルを更に含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記第１の開口が前記第１の接続ピースの前記凹部と位置合わせされる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記付勢要素は、ばねを含む、請求項 9 に記載のコネクタ。

【請求項 20】

前記第１の開口が前記第１の接続ピースの前記凹部と位置合わせされる、請求項 8 に記載のコネクタ。